

一編集後記一

編集の仕事に携わると、閲読のことを考えることが多くなる。投稿者としては、自分の書いた論文は完全無欠と考えているので、一刻も早く掲載してほしい。一方、閲読者は、原稿の不十分なところが重大な欠陥のように見えて、過度な注文をつけてしまいがちだ。

幸い、本学会の「閲読のお願い」には、閲読に対する考え方が明確に示されている。判読できない文章では困るが、論文内容は最終的には著者が責任を負うべきものであり、言い換えれば、著者の主張は最大限に尊重されなければならないことが記されている。現在、新しい投稿要項に沿って内容を改訂中であるが、その精神は変わっていない。

原稿内容が尊重されると言われても、返ってきた閲読結果を読む時の気持ちは複雑である。時には不本意な指摘があるかも知れない。しかし、原稿にはとにかく著者の

思いこみがありがちであるから、違った角度から第三者に読んでもらうことは貴重な機会と思う。

先日、コンピュータ関係のコラムに、あるソフトの開発に関する次のような文があり、印象深く読んだ。「...開発とバグ(欠陥)に関する情報は全面的に公開される。欠陥は、開発者の敗北ではなく、課題として見られることが多い。」

閲読で指摘された点は欠陥ではなく、論文を多くの人に分かりやすく読んでもらうための課題と捉える考え方が必要かも知れない。

閲読は投稿原稿を排除するためのシステムではなく、新しい学術情報を分かりやすく提供するために必要なシステムであることをご理解いただき、会員諸氏からの多くの投稿を期待している。

＜編集委員 島田 清（東京農工大学農学部）＞

土壌物理学会

事務局	会 長	河野 英一（日本大学生物資源科学部）
	副 会 長	渡辺 春朗（千葉県農業化学検査所）
	庶務幹事	鈴木 創三（東京農工大学農学部）
	“	石川 重雄（日本大学生物資源科学部）
	会計幹事	重松 智範（千葉県環境財団）
	編集幹事	青木 正雄（日本大学生物資源科学部）
	会計監査	松川 進（宇都宮大学農学部）
“	小川 吉雄（茨城県農業総合センター）	
編集委員会	委 員 長	軽部重太郎（茨城大学農学部）
	委 員	加藤 英孝（農業環境技術研究所）
		加藤 誠（東京農工大学農学部）
		駒村 正治（東京農業大学地域環境科学部）
		島田 清（東京農工大学農学部）
		関 勝寿（東京大学大学院農学生命科学研究科）
		原口 暢朗（農業工学研究所）
	平野 繁（東京農業大学農学部）	

土壌の物理性 第87号（会員配布） 2001年3月30日発行

発行 土 壌 物 理 学 会

〒252-8510 神奈川県藤沢市亀井野 1866

日本大学生物資源科学部 生物環境工学科内

電 話 0466-84-3696 Fax 0466-80-1103

E-mail : kohno@brs.nihon-u.ac.jp

振替口座 00150-2-17794

銀行口座 東京三菱銀行藤沢支店（店番 257）

普通 1495164「土壌物理学会」

印 刷 創文印刷工業株式会社

〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16